

英書講読ワークシート (12)

1. ギリシア同盟軍がテンペから引き上げた直後に何が起きたのか。(p.93)
2. アテナイで疎開に対する反対の理由の一つとして階級憎悪が挙げられているがそれはどのようなものなのか。(p.93)
3. アテナイでもスパルタでも人気のあった「マラトン解決」とは何か。(p.93)
4. テミストクレスはどのようにアテナイの民会を脅したのか。(p.94)
5. 480年の出来事を評価する際に我々が抱えている最も大きなハンディキャップとは何か。(p.94)
6. 前480年6月、アテナイの誰もが確信を持てなかったと著者が述べているが、何に対して確信を持てなかったのか。(p.94)
7. テミストクレスの自信に貢献することのなかったものにスパルタの孤立主義や犯罪的とも言える時機を失した援軍派遣のほかに著者は何を挙げているのか。(p.94)
8. 「パッラスはオリュンピアのゼウスの心を全く捉え得ず・・・」という神託の真偽について著者の考えは何か。(p.95)
9. 「女から生まれた息子らに死をもたらすであろう」という神託を大抵のアテナイ人は何を示していると解釈していたのか。(p.95)
10. 結果として神託はギリシア人の勝利を予言していたと言えるのか。(p.95)
11. 神託がサラミスに言及していることから多くの議論があるが、この問題についての二つの極論を紹介せよ。(p.96)
12. テミストクレスが何の為に神の支持を必要としていたのか。(p.96)
13. 6月の終わりに向けて戦わされた神託をめぐる論争は実際には何をめぐる論争だったのか。(p.96)

14. テミストクレスの代替案とは何か。(p.97)
15. テミストクレスに対する保守反対派にはどのような人々がいるのか。(p.97)
16. 保守派の人々にとって「木の壁」とは何のことだったのか。(p.97)
17. 保守的な人々は神託の最後の二行、「聖なるサラミスよ、汝は女から生まれる息子らに死をもたらすだろう。穀物が蒔かれる時か、収穫が集められる時に。」をどのように解釈していたのか。(p.97)
18. テミストクレスにとって国家とは単なる壁や建造物ではなく、何だと著者は言っているのか。(p.97)
19. 何が上流階級の伝統主義に打ち勝ったのか。(p.98)
20. ペンシルヴァニア大学のジェイムソン教授がトロイゼンで発見した決議法令は何のために世紀のコピーなのか。(p.98)
21. この碑文について多くの研究者は何と考えているのか。(p.98)
22. 著者を含めて他の研究者はトロイゼン碑文を何と考えているのか。(p.98)